

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▽賛成多数

◎福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

国の人事院規則にあわせ、3歳未満の子を養育する職員の超過勤務、休日勤務の免除に関する規定を整備するもので、あわせて用語の整理を行うもの。

◎福生市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律に基づき、育児休業を取得することができる職員が、再度の育児休業を取得することができる要件を緩和し、必要な規定の整備を行うもの。

◎福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

乳幼児の医療費の助成に関する条例、義務教育就学児の医療費の助成に関する条例及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例において、交通事故等の給付の場合の

第三者行為に係る求償に関する規定を整備し、法的根拠を明確にするもの。

▽福生市敬老金条例の一部を改正する条例

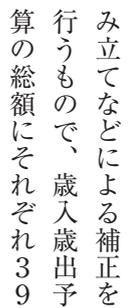
敬老金を贈呈する年齢など対象者の要件及び敬老金の額の見直しと、贈呈要件の基準日を改めるもの。

◎福生市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部改正に伴い、名称を障害支援区分認定審査会に改めるもので、あわせて附則において福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するもの。

◎福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

排出された資源物を市の指定収集業者以外の者が持ち去る行為を抑制し、それにより市が定めた一般廃棄物処理計画を適正に実施するため、資源物の収集または運搬の禁止等に関する規定を整備し、あわせて用語の整理を行うもの。



▲資源の持ち去り防止を

0.2万6千円を追加し、予算総額をそれぞれ2.26億8941万6千円とするもの。

◎平成25年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入では平成24年度決算の確定に伴う繰越金及び保険料未収金補填分負担金返還金を追加し、歳出では平成25年度広域連合分賦金の追加請求等を行うため補正を行うもので、歳入歳出予算の総額に、それぞれ5977万8千円を追加し、予算総額をそれぞれ10億2573万4千円とするもの。

◎市道路線の認定について

土地所有者から寄附の申し出により、わらつけ街道と牛浜北通りの交差点付近の大字福生字武蔵野2406番地4先路線を市道路線に認定するもの。

◎市道路線の廃止について

新興多摩街道とJR五日市線が交差する熊川第一踏切付近の市道第189号線は、一般の交通の用に供されていないため廃止するもの。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第4号)

まちづくり寄附金の歳入への追加及び基金への積み立て、特定防衛施設周辺整備調整交付金の確定及び同事業基金への積み立てなどによる補正を行うもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ39

陳情

今定例会の各委員会で審査された結果、不採択となつた陳情は次のとおりです。

◆不採択

○非婚の母子家庭の母が税法上の寡婦とされず不利益を受けていることに関する陳情書(25.3号)

(不採択理由) 市ではみなし適用の実施を決めており、また税法の改正については議会で要望する立場ではないため、意に沿いがたい。

○介護保険制度に関する陳情書(25.8号)

(不採択理由) 要支援者については、地域包括ケアシステムを含め、新たな視点で介護保険制度をつくる必要がある、意に沿いがたい。

○「地方自治法第124条改正」についての意見書提出(26.1号)

(不採択理由) 当市では、議員の紹介がなくても、陳情書として取り扱い、請願書と同様に審査をしており、意に沿いがたい。

○「地方自治法第124条改正」についての意見書提出(26.2号)

(不採択理由) 当市では、議員の紹介がなくても、陳情書として取り扱い、請願書と同様に審査をしており、意に沿いがたい。

○「行政事件訴訟法第3条第2項修正」についての意見書提出(26.3号)

(不採択理由) 判決について変更を求めるとは、司法の問題であり、議会で審査する内容ではなく、意に沿いがたい。

討論

●平成26年度福生市一般会計予算

■反対

国の経済政策により暮らしても経済も共倒れの危惧があるので、社会保障、雇用の安定による内需基盤拡大こそ必要である。

今こそ横田基地ありきの姿勢を転換し、市の未来を展望すべきときと考える。

今回の予算では、商店振興策、地元建設業者等への効果的配分が不十分であり、再生可能エネルギー導入への独自施策もない。また、福祉バス増便や、学校給食費無料化への取り組みもなく、そして、少人数学級実現への努力が見えない状況であり、市民の暮らしを支援する財政的裏づけがあるのに十分な配分がされていないので、この予算には反対する。

■賛成

国政ではアベノミクスによる経済再生効果が上がりつつあるが、地方自治体の財政運営は依然厳しい中、市政のかじ取りに市長の手腕が問われる。

国施策による歳入増要素もあるが、市税のほか税外収入もしっかりと予算化し、扶助費増は見込むものの人件費等のスリム化を図り、財源は臨時財政対策債の借入れに対し財政調整基金からの繰入れで収支均衡を図っている。その上で今やるべき懸案事業の執行、そして市民サービスの維持・向上を図る施策に前向きな姿勢がうかがえる。

五つの施策ジャンル新5Gは、子育て世代に定住化を促し高齢世代がともにも元気なまちづくりを目指すものなので、予算に賛成する。

■賛成

対前年度比1.7%増の予算編成だが、歳入は、地方消費税交付金の引上げ額相当額は社会福祉目的として充当され、自動販売機使用料の導入や市有地使用料徴収など税外収入も確保されている。

歳出では、道路照明灯LED化やわかたけ会館等の改良など、次世代に向けた投資的経費を見込む一方、既存事業も見直されている。災害対策や市道改良による安全なまちづくり、子育て世代の定住化や交通弱者対策の福祉バス運行事業改善のほか、子供たちの生きる力を育む教育予算など、私たちの要望も反映された予算であり、賛成する。

■賛成

市長の施政方針には盛りだくさんのメニューがあるが、特に災害対策について、給食提供機能を備えた災害時対応施設

の建設に注視し、施設に十分機能的な備えを盛り込むよう望みたい。

また、行政だけでなく市民同士、自主防災組織、事業所による自助共助、公助を充実させ、市内災害対応設備等の周知も大事である。そして、定住化や市の魅力発信、農業、生活の安全等についても市長のさらなる努力を求めたい。以上、課題は山積しているが、施政方針を着実に進めてくれることを願い、賛成する。

●平成26年度福生市国民健康保険特別会計予算

●平成26年度福生市一般会計予算

●平成26年度福生市後期高齢者医療特別会計予算

●平成26年度福生市下水道事業会計予算

●次の議案に対し反対討論がありました。

●福生市敬老金条例の一部を改正する条例

●福生市下水道使用料条例の一部を改正する条例

●平成26年度福生市国民健康保険特別会計予算